

これな～んだ？新聞

夏真っ盛り。外はたくさんのセミが大きな音で鳴いています。今回は、博物館の隣の樹林でセミ探しをしてみましょう。といっても、鳴いているセミを見つけるのではなく、幼虫から成虫へ羽化したあとの、「ぬけがら」を探します。

◆ぬけがらを調べてみると…

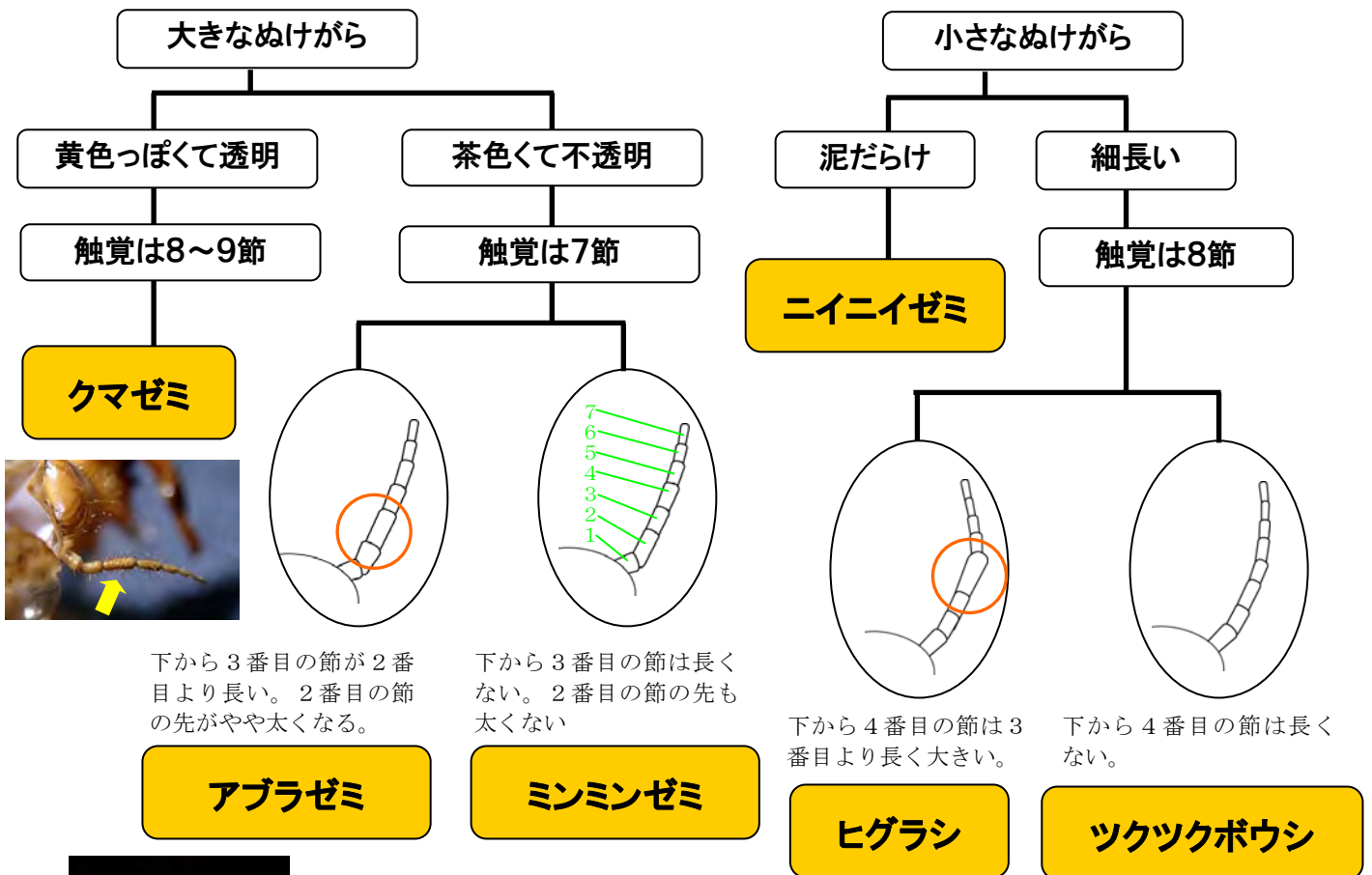
鳴いているセミはたいてい手の届かない場所にいますし、そもそも鳴くのはオスだけです。でも、ぬけがらなら手の届く場所に多いし、オス、メスに関係なくみつけることができます。そのセミが暮らしている確かな証拠としてぬけがらを集めてみると、その場所にどんなセミがいるのか、また、季節によって出てくる種類の違い、羽化する場所の違いなど、いろいろなことがわかるかもしれません。



アブラゼミのぬけがら

◆ぬけがらで見分けてみよう

博物館のまわりで見られる種類限定ですが、これだけで種類を区別できます！挑戦してみてください。



夜 8 時頃にぬけがらの多い場所へ行くと、羽化が見られるかも！
(写真はアブラゼミ)

次回のお知らせ
ミニ観察会：9月8日(土) 11時から
新聞 No. 18 も観察会にあわせて発行します。